

企業名：大東建託

レポート名： 統合報告書 2024

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

理解できる。

大東建託は「暮らし」を支える、をテーマに様々な不動産事業を通じて地域社会の課題を解決し、人口減少や昨今のコロナ禍のような不測の事態にも柔軟に対応できる企業を目指していることがよく理解できた。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

理解するには十分な資料が統合報告書には足りなかったように思う。

統合報告書内の項目として「経営資源・競争優位性」というものがあり、その中において大東建託の経営資源については十分な説明があったため、そちらについてはよく理解できた。しかしその経営資源がどのようにして他社との競争優位性につながるのか、説明が十分ではなかったように思う。他社と比較したデータなどによる競争優位性の明確な提示があってもよかった。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

管理戸数の上昇率や不動産開発事業の拡大計画から見て、持続性があることは理解できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

できると思う。

大東建託は中期経営計画の中で7つのマテリアリティを挙げており、その第3項目である人材組織の中でチャレンジできる機会の提供、専門性の高い人材の育成・確保、成長とチャレンジを促す職場環境の構築を掲げている。人材を確保することだけでなく、育成するという姿勢から見て自身の人的資本価値を向上させることができると思う。また、経営資源の項目の中で人的資本について述べている箇所があったが、女性管理職割合や男性育児休暇所得割合に関するデータの記載もあり、従業員の働きやすさについて向上させていくという企業の方針がよくわかった。自身の能力を向上させるには働きがいや働きやすさといったことも大切になってくると考えているのでこの点から見ても人的資本の価値向上は達成しやすいと考える。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

色の統一感があり、かつ目に優しい色で読むのに疲れなかった。

ただ文字が少し小さいのでもう少し大きめに配置してもよかった。また、せっかくわかりやすい図があるのにその図が小さすぎるせいで中の文字も読みにくくなり、図の良さが失われている気がした。